

## ～地域の交流の場を目指す、手作りの図書館～ 前田北小学校開放図書館『森の本棚』



▲本の貸し出し手続き風景

昨年10月31日、区内5カ所目の学校開放図書館になったばかりの、この図書館の名前は『森の本棚』。すてきな名前は、児童からのアンケートを基に付けられたものです。現在、PTAやPTAのOB、地域に住んでいる方など30人がボランティアで運営しています。図書館の中は、ボランティアの皆さん手作りの絵やかわいらしい人形などで飾られ、明るく楽しい雰囲気です。司書として活躍している高橋裕子さんは、PTAのOB。「子どもの在学中から、ここが開放図書館になれば、と願ってきました。いよいよ実施されると聞いて、私もお手伝いを始めたんです」と、うれしそうに話してくれました。

また、4年前にPTAで結成された読み聞かせのグループ、「はらぺこあおむし」のメンバーも図書館のボランティアに加わり、『森の本棚』を拠点に活動を行っています。代表の大石初代さんが「名前の由来は、良い本をいっぱい読んで、葉っぱをたくさん食べて大きく成長するあおむしのように、私たちの活動も大きく成長していきましょう、との願いから。聞きに来るのを楽しみにしてくれている子どもたちがいるのでやりがいがあるし、私たち自身が一番楽しみながら読み聞かせをしています」と、笑顔で語ってくれました。

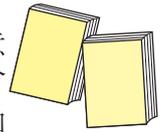


▲手作りの仕掛け絵本が子どもたちの興味をひきつけます

### ▼いなづみ児童会館の図書室



活字離れが進んでいる昨今ですが、本は私たちにいろいろなことを教えてくれます。そして図書館は、本に親しむことのできる、身近な施設です。  
★ ★ ★ ★  
皆さんの暮らしにも、図書館をもっともっと役立たせて、たまにはゆつくり読書してみましよう。



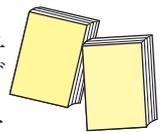
## 近所の小学校の 開放図書館へ

意外と知られていないのが、小学校の開放図書館。通学している児童だけでなく、地域の大人の方など、どなたでも利用することができる図書館なのです。

現在、区内では五つの小学校の図書館が開放されています（場所、開放日時などは前ページ左上の一覧を参照）。

この学校開放図書館の特色は、すべてボランティアの手で運営されていること。PTAや、PTAのOB、小学校のそばに暮らす方など大勢の方たちが、地域に密着した図書館の運営を担っています。

普段はなかなか小学校に足を運ぶ機会のない方も、利用されてみてはいかがでしょう。ご自分の母校の図書館が開放されている方は、懐かしい学びやの図書館を再び利用するという、ちょっとした楽しみを持つこともできそうです。



## ちびっこだって 児童会館へ

子どもたちにはおなじみの遊び場、児童会館。区内に十館ある児童会館にも図書室があります（場所などは前ページ左上の一覧を参照）。

図書室には、児童書や絵本などが豊富に取りそろえられていて、一人一冊の本を、一週間まで借りることができます。また、児童会館は靴を脱いで部屋

へ入ることになっており、図書室の床にはじゅうたんが敷かれています。ですから、おうちにいる感覚で、くつろぎながら本を読むことができます。また、自宅の近くで子ども向けの本を借りることができるという便利さから、児童会館は小さな幼児のいるお母さんたちにも多く利用されています。